

ARB	各病院コメント
三次中央	2月の処方量は、アジルサルタン20mgとオルメサルタン20mgがほぼ同量でトップでした。
三次地区医療センター	アジルサルタン増加、他剤は減少。総数は12月以降ほぼ変動ありません。推奨薬の比率はやや上昇していました。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	テルミサルタンの使用量は平均値よりも若干多かったもののアジルサルタン及びオルメサルタンの使用量は2025年4月から今までで最少使用量となった。理由としては稼働日数が少ないことと対象患者が少なかったためと思われる
PPI, P-CAB	各病院コメント
三次中央	引き続き、ランソプラゾール15mgが断トツでトップでした。その他の薬剤は全て横ばいでした。
三次地区医療センター	推奨薬は減少、ポノプラザンが増加。総数は12月以降やや減少傾向です。前月よりも低下はしましたが、推奨薬の比率は高い状態を維持しています。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	ランソプラゾール及びラベプラゾールの使用量が少なく全体としても年間を通してわずかではあるが最少使用量となった。
スタチン	各病院コメント
三次中央	1位はアトルバスタチン10mgですが、経時的にロスバスタチン2.5mgの処方量が上昇傾向にありました。
三次地区医療センター	全ての薬剤がやや増加しており、推奨薬の比率は横ばいです。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	ロスバスタチンの使用量が少なく稼働日数の影響と思われる。
$\alpha$ -GI	各病院コメント
三次中央	全体的に横ばいでした。
三次地区医療センター	ボグリボースが半減しています。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	合計数が少ないのは、稼働日数と対象患者が少なかったためと思われる。
抗ヒ薬	各病院コメント
三次中央	トップはフェキソフェナジンDS5%でした。花粉症の影響もあり。
三次地区医療センター	フェキソフェナジン、レボセチリジンが減少、ビラスチンが増加。ビラスチンはほぼ全例が外来患者への処方です。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	フェキソフェナジン60mgの使用量が多かった。平均値よりも200錠程度多かった。
消炎鎮痛薬	各病院コメント
三次中央	感染症の影響もあり、アセトアミノフェン細粒が一時的に増加していましたが、2月は若干低下傾向にありました。
三次地区医療センター	アセトアミノフェン、ロキソプロフェンが減少。総数が約3割低下していました。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	セレコキシブ錠100mgの使用量は少なかったものの合計では平均値よりも使用量は多い結果となった。
歯口腔術後抗菌薬	各病院コメント
三次中央	当院ではアモキシシリン(推奨薬)とクラリスロマイシン(オプション薬)の処方量が1:2の割合です。
三次地区医療センター	該当処方なし
庄原赤十字病院	対象薬剤の採用がない
西城市民病院	処方なし
ビスホスネート製剤	各病院コメント
三次中央	推奨薬・オプション薬共に全体的に横ばいでした。
三次地区医療センター	アレンドロンが半減。ミノドロンの増加分以上に減少しているため、対象患者が少なかったと考えられます。
庄原赤十字病院	対象薬剤の採用がない
西城市民病院	特に変化なし

備北地区・地域フォーミュラリ薬剤 数量集計での各病院コメント

令和 8 年 2月分(2)

ヘルパス薬	各病院コメント
三次中央	引き続き、全体的に減少していました。
三次地区医療センター	バラシクロビル1例処方
庄原赤十字病院	バラシクロビルの処方はなく、アメンリーフの処方数も減っていた
西城市民病院	対照薬なし
Ca拮抗薬	各病院コメント
三次中央	引き続き、1位はアムロジピン5mg、2位はニフェジピン20mgでした。
三次地区医療センター	推奨薬・オプション薬共に増加率が高かったです。気候要因による変動かと思われます。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	特に変化なし
グリニド系糖尿病薬	各病院コメント
三次中央	断トツ1位はレパグリニド0.25mgでした。 オプション薬(ミチグリニド10mg)と比べると10倍以上差があります。
三次地区医療センター	レパグリニド0.25mgが倍増、0.5mgは減少。 総数は前月よりも増加していますが、処方例は減少傾向にあります。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	(オプション薬)ミチグリニド10mg(OD錠)の使用量は ここ3ヶ月は平均的な使用量となっている
多価不飽和脂肪酸製剤	各病院コメント
三次中央	イコサペント酸エチル900mgの処方量は若干低下傾向でした。
三次地区医療センター	イコサペント酸増加ですが、処方例少なく傾向は不明です。
庄原赤十字病院	先月に比べて処方数は減っていた
西城市民病院	対象患者が少なく使用量も平均値より500包程度少なくなっている
尿酸生成抑制薬	各病院コメント
三次中央	フェブキソスタット10mg・20mgが上位を占めていました。
三次地区医療センター	アロプリノール増加、フェブキソスタットは半減しています。 月変動が大きく、傾向は不明です。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	ここ3か月の平均では100錠程度少ない 対象患者が少なかったためと思われる